

道路愛護などの功績が表彰されました

8月28日、特定非営利活動法人志布志市ふるさと協議会有明支部、志布志支部、松山支部が鹿児島県から道路愛護等に関する功績が認められ表彰されたことを受け、市長室で表彰伝達式が行われました。同協議会は、平成18年に設立され、今回、市内の県道や市道、河川などの道路清掃やごみ拾いなどの活動を、継続的に実施されたことが評価され表彰されました。また、1,000人街頭立哨など交通安全啓発活動にも積極的に参加されています。



鹿児島黒豚を学校給食に提供

「株式会社ナンテク・志布志畜産株式会社」が地産地消の一環として、郷土の特産品である「鹿児島黒豚」の周知と食に関する知識や習慣などの学習につなげてもらいたいと、学校給食センターに贈呈されました。

両社は、9月6日を「黒(くろ)の日」として平成19年度から給食に食材の贈呈をされており、本市の各学校では9月5日、6日に「黒豚丼」にして給食を楽しみました。



敬老訪問で長寿を祝いました

9月6日、市長・議長・社会福祉協議会らが市内の最高齢の方や白寿の方々を訪問し、長寿を祝いました。

9月17日の敬老の日を前に実施され、特別養護老人ホームやちくに入所されている志布志市最高齢104歳の佐々木ヨネさん(大正2年12月生まれ)や大正9年1月～12月生まれの35名(男性6人 女性29人)を訪問しました。



秋の交通安全キャンペーンが実施されました

9月21日～30日の秋の全国交通安全運動に伴い、9月25日、県交通安全協会志布志地区協会の会員が、松山町で交通安全を呼びかけるキャンペーンを行いました。

会員らは、チラシやガムなどが入った粗品をドライバーに配り、子どもや高齢者の通行安全の確保や早めのライト点灯、飲酒運転の根絶など交通安全を呼びかけました。



人権擁護委員の委嘱状伝達式

8月29日、市長室で人権擁護委員の委嘱状伝達式が行われ、志布志町安楽の竹之内京子さん(写真左)と有明町野神の谷口誠一さん(写真右)に委嘱状が渡されました。

お二人は平成27年7月から人権擁護委員として、地域住民の一番身近な相談相手となっています。今回これまでの適正な処置や救済に努められていることなどの功績により、再任されることになりました。



祝 世界理美容選手権マスター部門優勝

有明町でヘアサロンケンジを運営する原田昌司さんが、9月にフランスで開催された世界理美容技術選手権大会(ヘアワールド2018)に出場し初優勝され、9月25日市長室で表彰伝達式が行われました。

原田さんは50歳になったのを機にチャレンジすることを決め、県予選、全国大会を経て世界大会に出場。市長室で原田さんは「今までで一番気合を入れて仕事をしました。優勝できたのは家族とスタッフの協力のおかげです」と感謝の言葉を述べられました。



さんふらわあきりしま 新造船就航

志布志～大阪航路に投入された新造船大型フェリーの2隻目である「さんふらわあきりしま」が9月15日の大阪発から運航を開始し、翌16日、志布志港に初入港しました。入港後、船内の操舵室で記念プラークなどが高梨直智船長らに贈られました。

この記念プラークは、鹿児島県の「さつまの名匠」に認定された志布志市の佐藤隆洋さんが作成したもので、「一路平安(航海中の無事を祈る)」と刻印されています。



スポーツ少年団の発展に貢献

9月15日、鹿児島市の県立鴨池補助競技場で、地域の青少年健全育成に貢献された指導者を表彰するスポーツ少年団顕彰者表彰が行われ、本市から2名の方が受章されました。

- 日本スポーツ少年団顕彰(写真右)
大山龍美さん 香月水泳スポーツ少年団(水泳)(指導歴28年)
- 県スポーツ少年団顕彰(写真左)
田中隆幸さん 志布志なかよしスポーツ少年団(空手)(指導歴21年)

